

桑山 尚司さん（広島県広島市安佐北区出身）

JICA 草の根技術協力事業

案件名：タケオ州における授業研究による教員の授業能力の向上

実施団体：ひろしま平和貢献ネットワーク（広島県）

派遣国：カンボジア

2017年11月12日（日）中国新聞 SELECT 掲載



※中国新聞社の許諾を得ています

平和を願い教科書改訂

「チョム リアプ スオ」「スオ スダイ」。カンボジアの学校では、午前7時前から子どもたちが三々五々、集まり始める。制服姿にゴム草履。かばんや水筒代わりにペットボトルを抱えている。目を引くのは、2人や3人乗りで子どもを送迎する保護者のバイクによる渋滞だ。朝から気温は上がり、子どもたちは汗をにじませながら笑顔を輝かせ、午前11時までの学校を楽しみにしている。



研究授業の様子。子どもたちはカンボジアの文化や歴史について学ぶ

過去の内戦で多くの教師も失ったカンボジアも現在は東南アジア諸国連合（ASEAN）の中にあって経済成長が著しい。この子どもたちが持続可能な社会の担い手となるために、教育の果たす役割は大きい。

広島県が事務局を務めるひろしま平和貢献ネットワーク協議会は、同国教育省と協力して、2005年から教育支援に取り組んできた。現在は、国際協力機構（JICA）草の根技術協力事業として、私の所属する広島大学など県内の大学、県教委と連携し、小中学校の社会科カリキュラム・教科書改訂支援をしている。

カンボジアでの社会科は暗記教科として捉えられがちである。しかし現地の行政官や教師たちと交流する中で「二度と内戦を繰り返さないような社会を築きたい」「子どもたちにはより豊かで平和な社会の担い手となってほしい」という思いを語り合ってきた。カンボジアの人たち自身が、その願いを社会科カリキュラムや教科書として、さらにはよい授業として表現することに協力していきたい。